

岐阜県技術士会 5 月総会議事録

H24 年 5 月 12 日 (土) 13 時～17 時
(JR 岐阜駅) ハートフルスクエア G 大研修室

大谷事業委員の司会により開会

1. 来賓あいさつ：愛知県 野々部代表 静岡県 吉田代表 三重県 平田代表



2. 新合格者紹介 奥田務(機械) 那須和光(電気電子) 小木曾裕也(化学, 一次) 堀場陽子(環境, 一次)



3. 総会

田島代表幹事が議長となり、総会議事を進行。

出席者 26 名、委任状 25 名、合計 51 名。従って岐阜県技術士会規則第 17 条により総会が成立。

提案・決議

田島代表幹事による説明を経て、次の議案が承認された。

<第 1 号議案> 平成 23 年度事業報告

<第 2 号議案> 平成 23 年度会計報告

<第 3 号議案> 平成 24 年度活動方針

<第 4 号議案> 平成 24 年度予算案

<第 5 号議案> 平成 24 年度役員と組織図



今年度の行事日程

岐阜県技術士会・例会開催日

7 月 7 日(土)、9 月 1 日(土)、11 月 3 日(土)、1 月 12 日(土)、3 月 2 日 (土)

中部本部・例会など

5 月 26 日(土)年次大会 7 月 28 日(土)、9 月 8 日(土)、12 月 1 日(土)、3 月 30 日(土)

2 月 16 日(土)修習技術者業績発表会

技術士試験

8 月 4 日(土)、8 月 5 日(日) 二次試験、10 月 8 日(月) 一次試験

岐阜県技術士会規則と内規の改定案が次のように提案され承認された。

下記に示すように中部本部の組織図改定に伴い、規則と内規のタイトルから(社)日本技術士会中部支部を削除して、単に「岐阜県技術士会 規則」及び「岐阜県技術士会 内規」とする。

組織図を改定して役員の個人名を省く。

技術士会地方組織についての議論

中部本部の組織図が改定され各県技術士会との関係が実線から点線になった。5月26日の年次大会（従来の総会に相当）で報告される。

岐阜県技術士会規定によって会員は日本技術士会会員と準会員で構成されるが、これは総括本部傘下の新地方組織の規定と同じ。

当面の結論としては現状のまま様子見！

4. 話題提供

渡邊会員 日刊新聞での技術士制度についての紹介がされた

NPO 法人・技術サポートぎふ技術士の会 総会は5月28日18時～

遊具点検の教育 競輪の助成金が通ったが助成率が1/2で辞退
(荻須代表) 企業への教育を始めた ISO取得支援 環境の講演

=====

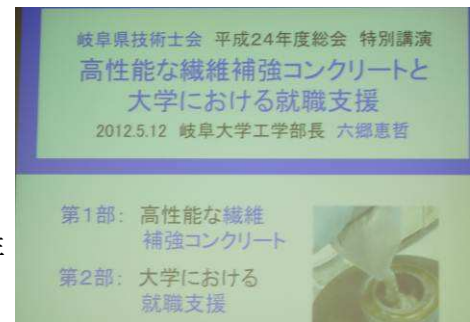


5. 特別顧問講演 六郷恵哲先生 (岐阜大学工学部長)

「高性能な繊維補強コンクリートと、大学における就職支援」

自己紹介 広島生まれ、京都大学、大学院、イリノイ大学留学を経て、岐阜大学に来て32年、今年度から工学部長。

大学紛争の最中に学生時代を過ごし、大学の授業でコンクリートの破壊力学を学んで以来、コンクリートの破壊挙動解析と破壊靱性改良に取り組む。



第1部 高性能な繊維補強コンクリート

コンクリート工学とは「ひび割れ制御工学」と同意語。コンクリートは金属と異なり大きな「ひび割れ」で一挙に破壊するが、高強度ビニロン、高強度ポリエチレン、ポリプロピレンなどの繊維を混入すると微小な「ひび割れ」が順次起こって、結果としてあたかも金属の塑性域のような破壊モードとなり破壊靱性が上がる。この「ひび割れ」の巾は0.05mm程度。コンクリートの「ひび割れ」は巾が0.2mm以下なら鉄筋が腐食しない。このような繊維補強コンクリートを「複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複

合材料（HPFRCC、SHCC、ECC）と言う。以下、講演でのキーワードを記す。

- HPFRCC に関する研究

土木学会の指針案と引張試験。利用のアイデアとしてエネルギーの吸収では RC ビルの制振部材。引張抵抗性能で鋼材との組み合わせ。農業用水路の修理で簡便な吹き付け表面補修。高速道路トンネルの修理に吹付で急速施工。変形追随性能を応用して桁ジョイントの一体化。木材に近い性能を利用して木材との複合部材。

- 研究のアイデア(岐阜大学)

引張試験方法を改良。鉄筋防食性能の評価。ひび割れた HPFRCC の耐凍害性。止水性とひび割れ閉塞。橋梁桁端の変形吸収ブロック。手練による少量利用。鉄筋を配置した微膨張型 HPFRCC。

繊維の分散と配向と性能。繊維ロープとの組合せ。

- HPFRCC の利用の拡大

使用を拡大する仕組み。利用と研究のアイデア。

- 面白いアイデアと大きな夢を

色々なものを組み合わせるなど新材料はアイデアの宝庫。魅力的な夢はいずれ実現される。

- 新材料に関する研究

研究者とその成果を利用する建設技術者の協調。

「自分の興味」から「周りの人の研究し易さ」へ。



第2部 大学における就職支援

岐阜大学や学部の支援。社会基盤工学科の支援。

- 支援の工夫

学生が効率的に就職活動をすすめる。納得できる就職先を早めに決めるための支援。学生の満足度の向上を重視して「入って満足、出るとき満足、出てから満足」を理想に。

質疑応答

諸外国との比較。リサイクル可能か。破壊する時期がわかるか。

新技術のコストパフォーマンスは。

深川、田島 記

参加者の所感：

- 「ひび割れ」そのものをなくすことよりも、一挙に起こる「大きなひび割れ」を「多数の微小なひび割れ」に換えると云う発想は、現実的で興味深かった。
- 繊維を混入したコンクリートが羽田空港の滑走路に使われているとは知らなかった。
- 「入って満足、出るとき満足、出てから満足」のキャッチフレーズは、何にでもあてはまりそう。

懇親会：岐阜駅近くの居酒屋「ぼんぼり寺」

宴たけなわになったころ、今後の活動に話題が及び、安田会員（川重KGM社長）より川崎重工見学会の提案があり、その場で多数の賛同者を得て、早速、安田会員を中心に計画することになった。